



統計スポット情報

No. 65

14. 8. 30

福井県総務部情報政策課

イベント開催に伴う

経済波及効果の推計

・「利家とまつ」加賀百万石博の経済波及効果・

NHKの大河ドラマ「利家とまつ」の放送に合わせ、石川県の金沢城公園では加賀百万石博が開催されています。

開催に先立ち、日本銀行金沢支店は、このイベントの「経済効果」を試算し、その結果をホームページで公開しています(注1)。

表1 加賀百万石博の経済効果

	単位:億円)
直接支出額	223
1次波及効果	84
2次波及効果	49
経済効果累計額	355

(注)日本銀行金沢支店の試算による。

実は、この「経済効果」の試算は、産業連関表を用いた産業連関分析によって行われたものです。

産業連関表とは、ある地域(例えば、福井県内)において、一定期間(通常は1年間)に行われた財・サービスの産業部門相互間の取引状況を一覧表に取りまとめたものです。ご存知のとおり、各産業部門は、原材料の供給などを通じて、相互に結びつき合いながら生産活動を行っています。したがって、ある産業部門で需要が増え、生産が増加しますと、ちょうど水面に小石を投げ入れたときにおこる波紋が次々と範囲を広げていくように、さまざまな産業部門で生産が増加することとなります。これを生産波及効果といますが、産業連関分析を行うことによって、直接需要が増加した産業部門だけでなく、当該地域の産業部門全体での生産波及効果を求めることができます。産業連関分析の特徴は、まさにこの点にあります。

加賀百万石博の「経済効果」の試算結果をみますと、「直接支出額」が223億円、「1次波及効果」が84億円、「2次波及効果」が49億円、これらを合計した石川県内への「経済効果累計額」は355億円となっています。

「直接支出額」とは、観光消費額(観光客が宿泊や土産物の購入などの消費に支出する金額)および関連公共支出額(会場のパビリオン建設などに支出された金額)により、直接需要が増加し、石川県内で生産が増加した金額をいいます。

また、「1次波及効果」とは、「直接支出額」により需要が増加した産業部門が、他の産業部門から原材料を購入することによって生ずる生産波及効果をいい、「2次波及効果」とは、「直接支出額」および「1次波及効果」により増加した雇用者の所得の一部が、家計の消費支出を増加させ、それによって誘発される生産額をいいます。これら「1次波及効果」および「2次波及効果」を求めるためには、産業連関分析を行う必要があります。

なお、日本銀行金沢支店では、本年6月30日時点での入場者数をもとに、石川県内にもたらされる「経済効果」について、「中間集計」も行っています。これによりますと、「経済効果累計額」は295億円で、今後、県外の観光客を中心に現在のペースを維持した場合、「経済効果累計額」は最終的に700億円に達する可能性があるとのことです。

現在、産業連関表はすべての都道府県、一部の市などで作成されていますので、これを利用することにより、各地域で同様の分析を行うことができます。さらに、産業連関分析では、イベント開催に伴う経済波及効果が推計できるだけでなく、例えば、特定のプロ野球の球団が優勝することによる地域への経済波及効果や経済対策による経済波及効果などの推計も行うことができます。

経済波及効果の推計は、産業連関表にお任せくださりませ。



(注1)日本銀行金沢支店のホームページのURLは、<http://www3.boj.or.jp/kanazawa/>、です。